~次代へつなぐ豊かな農業・農協と地域社会をめざして~

2015 JA佐渡の経営内容



写真:「海府北部ジオサイト~大野亀とカンゾウ」

プロフィール

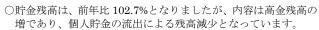
設		立	平成5年8月1日
	店所在		新潟県佐渡市原黒 300-1
出	資	金	26. 3億円
総	資	産	1,243億円
組	合 員	数	15,864人 (正組合員8,701人•准組合員7,163人)
職	員	数	466人
店	舗	数	本店、支店 9店、出張所 3店

平成26年度JA佐渡の経営状況は次のとおりです。

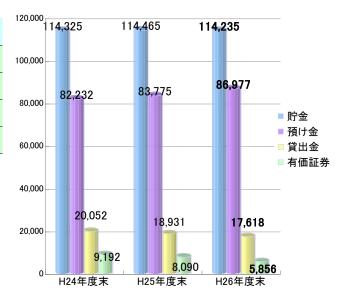
主要勘定の推移

(単位:百万円)

H26 年度末	H25年度末	H24 年度末			
114,235	114,465	114,325	金		貯
86,977	83,775	82,232	金	け	預
17,618	18,931	20,052	金	出金	
5,856	8,090	9,192	券	価 証	有



- ○預け金残高は、貸出金、有価証券運用の減少を反映して着実な 信連預金を中心に前年比 101.8%と残高増となりました。
- ○貸出金残高は、前年比94.4%と目標を下回る結果となりました。 新規融資では前年実績を大きく上回ったものの大口先である公 金の約定返済、繰上償還などが大きく影響しました。
- ○有価証券残高は、低金利の状況から運用残高を伸ばしませんでした。

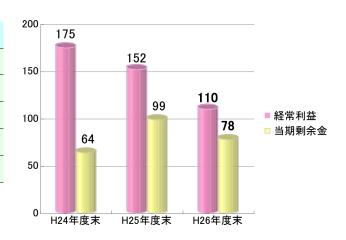


収益等の推移

(単位:百万円)

H26 年度末	H25 年度末	H24 年度末				
8,979	9,516	9,544	益	収	常	経
8,868	9,363	9,368	用	費	常	経
110	152	175	益	利	常	経
78	99	64	金	11 余	期	当
154	181	144	金	剰余	処 分	未

○地域経済の低迷、低金利等の影響から信用事業をはじめ各事業とも 増収が厳しい中、各事業とも着実な実績の積み上げと管理費圧縮な どの総合的な経営努力により、経常利益で 1.52 億円、当期剰余金 99 百万円を計上することができました。剰余金の一部は出資配当と し、積立金の積み増し等、内部留保の充実も図りました。



自己資本比率の推移

(単位:百万円、%)

	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末
自己資本額(A)	5,902	5,956	5,978
リスクアセット(B)	38,360	39,221	39,798
自己資本比率 (A)÷(B)×100	15 38	15.18	15.02



〇当 JA の自己資本比率は15.02%であり、国内基準(4%)及び国際統一基準(8%)を上回る財務基盤を維持しています。 自己資本増強のため、組合員加入促進の取り組みや増資運動に取り組んでおります。

自己資本比率の算出方法について

〇出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総資産等 (リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

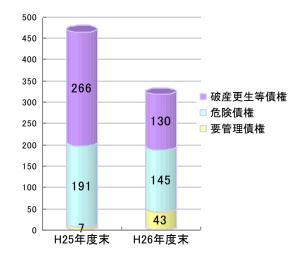
※リスク・アセットとは…万一の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウェイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

不良債権の状況

金融再生法開示債権の推移

(単位:百万円 %)

	H25 年度末	H26 年度末
破産更生等債権①	266	130
危 険 債 権 ②	191	145
要管理債権③	7	43
小計(①+②+③=A)	464	318
正常債権④	18,638	17,483
債 権 額 合 計 (A+4)=B)	19,102	17,802
債権額に占める開示債権の 割合(A÷B×100)	2.43	1.79



開示債権と保全の状況(平成26年度末)

厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円 %)

											, , , , , , , ,	313 707		
	自己査定と保全の状況									開示債権	リスク管理	里債権		
債	務	者	区	分	残高 A	担保等保全額B	貸倒引当金 C	保全率(B+C)÷A	区分	残高	区分	残高		
破		綻		先	24	87	74	90.7	破産更生等	130	破綻先債権	12		
実	質	破	綻	先	153	07	74	90.7	債 権	130	7元:世/主+午	050		
破	綻	懸	念	先	211	125	44	80.3	危険債権	145	延滞債権	259		
#	要管:	管理先		要管理先			68	54	54 0	79.6			3ヵ月以上延滞債権	-
要注意先	٠.	3-22				01	, and the second	70.0	要管理債権	43	貸出条件	43		
思先	70	り他多	三注音	新井	968	069					緩和債権			
,,		وتاار	< / /	5.76	300				工尚佳坛	17 400	合計	315		
正		常		先	18,976				正常債権 17,483					
合				計	20,402				合 計	17,802				

リスク管理債権について

- 1. 「破綻先債権」とは、未収利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除きます。以下「未収利息不計上貸出金」といいます。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由または同項第4号に規定する事由が生じている貸出金です。
- 2. 「延滞債権」とは、未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建または支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもの以外の貸出金です。
- 3. 「3カ月以上延滞債権」とは、債務者が利息または元本の支払いを3カ月以上延滞している貸出金です。
- 4. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建または支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、債権の一部放棄等を行っている貸出金です。

金融再生法開示債権について

- 1. 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
- 2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息 の受取りができない可能性の高い債権です。
- 3. 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
- 4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

有価証券等時価情報

(単位:百万円)

伊夫克八		平成25年度末		平成26年度末			
保有区分	取得価格	時 価	評価損益	取得価格	時	価	評価損益
売買目的	-	-	-	-		-	_
満期保有目的	1,499	1,515	16	499		501	2
その他	6,499	6,764	265	5,089	5,	,356	267
合 計	7,998	8,280	281	5,589	5,	,856	268

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「農業メインバンク」として社会的責任を担っております。

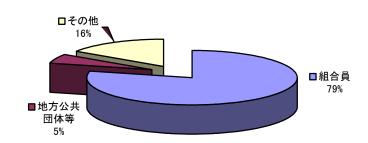
また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「生活メインバンク」として機能発揮に努めております。

地域からの資金調達の状況

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

		種		類			残	高
組			合			員		95, 300
地	方	公	共	団	体	等		6, 424
そ			の			他		12, 510
		合		計				114, 235

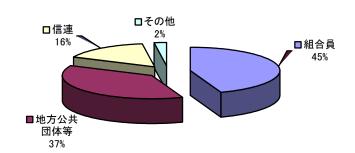


地域への資金供給の状況

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

		種		類			列	Ė	高
組			合			員			7, 847
地	方	公	共	団	体	等			6, 594
信						連			2, 800
そ			の			他			376
		合		計					17, 618



農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融事業を基本として、農業融資専任担当者による農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせてTAC(営農経済渉外活動)等他部門と連携した相談機能の充実をはかっております。

こうした活動を円滑に実施するため「JAバンク農業金融プランナー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、JAグループ新潟またはJA独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

(単位:百万円)

主な農業関係の貸出金残高(資金種類別)

[貸出金]

種類貸出金額プロパー資金1,298農業制度資金249農業近代化資金127その他制度資金等122合計1,547

- 1. プロパー資金とは、当組合原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで JA が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
- 3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金(ス ーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金など が該当します。

社会的貢献活動への取り組み

当JAは、地域金融機関としてどなたからも身近で、親しまれ、選ばれる金融機関であるために経営ビジョンである「地域の未来を育むJA」をめざして、広く地域社会に貢献すべく、次のような活動を取り組んでいます。

- ◆毎年3月と8月には「環境美化ボランティア」を実施し、組合員・全役職員参加による全島的な美化活動に取り組んでいます。また、助け合い組織「ほほえみ会」の活動や、青年部や女性部組織による福祉施設等でのボランティア活動や高齢者の意向位の場「ほほえみ広場」を毎年実施しています。
- ◆青果市場などと毎年 11 月 3 日に共同開催している「ふれあいアッセまつり」や、各支店を中心に実施する夏祭り・収穫祭など地域住民とのふれあいなど地域貢献活動を大切にしています。
- ◆佐渡市認証米制度を通じた消費者との交流や朱鷺環境整備募金 の取り組み等行政と一体となり佐渡島の PR に取り組んでいます。



写真:ほほえみ広場での高齢者健康教室「笑いヨガ」



写真:「ふれあいアッセまつり」での募金活動



写真:環境美化ボランティア(3月、8月)

- ◆JA関連施設での太陽光発電設 備の導入など二酸化炭素削減、電 カコスト削減をはかるとともに、夏 場の省電力PRのための各施設で の緑のカーテンの設置などに取り 組んでいます。
- ◆電気自動車の普及推進を図るた め金井・両津地区の「セルフ給 油所」に電気自動車の急速充電 器を設置し、環境PRを行っています。





写真:電気自動車急速充電器と畑野農業倉庫の太陽光パネル

これからも地域と共にあるJAを目指して

当JAでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の 暮らしの応援を行っております。

◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院にそれぞれ売

店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役

として店舗運営を行っております。

◇農産物直売所 : 昨年8月にオープンしたJA直営直売所「新鮮

> 空間 よらんか舎」と「菜菜きて屋まの」、Aコ ープ各店でのインショップ方式による産直コー ナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者

へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール: 増加するホール葬需要に応えるために、グルー

プ会社の運営により島内2か所にセレモニーホ ールを設置しております。また、自宅葬や出張葬 など幅広いニーズへの対応を行っております。

◇セルフスタンド : 本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引

き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソ リンスタンドを島内3か所に設けております。

◇総合ポイント制度: 各種事業のご利用に応じて会員の皆様へのポイントによる還元サービスを行っております。

現在会員数は約27,000名のご加入をいただいております。

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り 組んでおります。

組合員数の推移

(単位:組合員数)

				H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末
正	組	合	員	9,136	8,932	8,701
准	組	合	員	5,836	6,787	7,163
組	合	員	計	14,972	15,719	15,864



写真:農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」

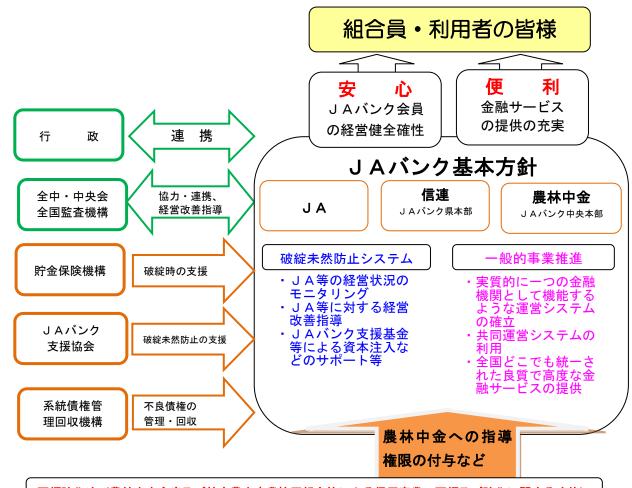
16,000 14,000 12,000 8701 8932 9136 10,000 ■正組合員 ■准組合員 8,000 6.000 4,000 7163 6787 5836 2 000 H24年度末 H25年度末 H26年度末

皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員(JA・信連・農林中金)で構成するグループの名称であり、組合員・利用者のみなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。



再編強化法(農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律)

JAバンク・セーフティーネット

貯金保険制度

- 助貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- ●貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。

+

破綻未然防止システム

- ●全国のJAバンクが協力して個々のJAを 支援する、独自の制度である「相互援助制 度」を一層充実・強化しています。
- ●「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック(モニタリング)、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。



編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

E *- N kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp

ホームへ°ーシ* http://www.ja-sado-niigata.or.jp/

JA佐渡



佐渡を世界遺産に